

愛媛県への
問い合わせ先
寄附金申出先



愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」

愛媛県総務部管理局総務管理課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
 【電話】089-912-2151 【ファクス】089-921-6363
 【Eメール】soumukanri@pref.ehime.jp
 【ホームページ】ふるさと愛媛応援サイト
<http://www.pref.ehime.jp/h10100/furusatonoze/left.html>

〇県外での現金受け入れ窓口

愛媛県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目6番3号 都道府県会館11階
 【電話】03-5212-9071 【ファクス】03-5212-9072

愛媛県大阪事務所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目9-1 肥後橋センタービル
 【電話】06-6441-2829 【ファクス】06-6441-2830



平成26年度

ふるさと愛媛応援寄附金 活用事業実績報告書

～ふるさと納税への御協力ありがとうございました～

愛媛県では「ふるさと愛媛応援寄附金」として、本県ゆかりの皆様にご協力を
 お願いしましたところ、平成26年度中に302人の方々から775万2,656円の
 御寄附をいただきました。

この貴重な寄附金は、「愛顔あふれる愛媛県」の実現のため、「愛媛マルゴト自転
 車道」の整備推進による観光振興やえひめ国体に向けた競技力の向上など、4分野
 7事業の財源として活用させていただいたところであり、皆様の御芳志に改めて
 感謝を申し上げます。

今後とも、皆様と、ふるさと愛媛との縁を大切にはぐくんで参りたいと考えて
 おりますので、愛媛の発展に温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛媛県知事 中村時広

■ 県内の各市町への御寄附ありがとうございました。

平成26年度も、愛媛県への寄附とは別に県内の20市町に対しても多くの方々から温かい御寄附
 をいただきました。

今後も引き続き、県内の市町への御支援よろしくお願いいたします。

なお、寄附の方法や寄附金の活用内容など、詳しくはそれぞれの市町にお問い合わせください。

〇各市町へのお問い合わせ先・寄附金申出先

市町名	課名	郵便番号	住所	電話番号
松山市	納税課	790-8571	松山市二番町4丁目7番地2	089-948-6850
今治市	市民税課	794-8511	今治市別宮町1丁目4番地1	0898-36-1510 (内31503)
宇和島市	総務課	798-8601	宇和島市曙町1番地	0895-24-1111 (内2426)
八幡浜市	政策推進課	796-8501	八幡浜市北浜1丁目1番1号	0894-23-3111 (内1343)
新居浜市	総合政策課	792-8585	新居浜市一宮町1丁目5番1号	0897-65-1210
西条市	納税課	793-8601	西条市明屋敷164番地	0897-56-5151
大洲市	企画政策課	795-8601	大洲市大洲690番地の1	0893-24-1728
伊予市	財務課	799-3193	伊予市米湊820番地	089-982-1111
四国中央市	財政課	799-0497	四国中央市三島宮川4丁目6番55号	0896-28-6007
西予市	税務課	797-8501	西予市宇和町卯之町3丁目434番地1	0894-62-6401
東温市	総務課	791-0292	東温市見奈良530番地1	089-964-4400
上島町	総務課	794-2592	上島町弓削下弓削210番地	0897-77-2500
久万高原町	総務課	791-1201	久万高原町久万212番地	0892-21-1111
松前町	総務課	791-3192	松前町筒井631番地	089-985-4103
砥部町	企画財政課	791-2195	砥部町宮内1392番地	089-962-7250
内子町	総務課	795-0392	内子町平岡甲168番地	0893-44-6151
伊方町	政策推進課	796-0301	伊方町湊浦1993番地1	0894-38-2659
松野町	森の国創生課	798-2192	松野町松丸343番地	0895-42-1116
鬼北町	企画財政課	798-1395	鬼北町大字近永800番地1	0895-45-1111
愛南町	企画財政課	798-4196	愛南町城辺甲2420番地	0895-72-7317





平成26年度に頂いた寄附金775万2,656円(302件)は、次の事業に活用しました。

生き活きとした
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 2,052,656円

愛媛産品のブランド力向上と販路拡大

●「愛育フィッシュ」のイメージアップ

魚類養殖日本一の愛媛県から養殖魚のイメージアップを図るため、「愛育フィッシュ」の愛称を活用した普及PR事業を実施しました。

特に、26年度は、県外での「愛育フィッシュ」の認知度向上を目指し、全国各地の百貨店や量販店の協力によるフェアを開催し、知事のトップセールスをはじめ、県立宇和島水産高校水産食品科の「フィッシュガール」によるクロマグロの解体ショー、人気急上昇中の愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」の応援などで、愛媛の魚の魅力为全国の多くの皆様に発信しました。



愛顔のえひめフェア

魅力ある観光地づくり

●「愛媛マルゴト自転車道」の整備を推進

本県では、「自転車新文化」を提唱し、県下全域で誰もがサイクリングに親しめるよう「愛媛マルゴト自転車道」の整備を進めています。具体的には、県下全域で26のサイクリングコースを設定し、ブルーライン、コース案内板、マナー喚起標識の整備等、安全で快適なサイクリング環境の整備を行っており、今回の寄附金により、ブルーラインの整備促進を図りました。



「愛媛マルゴト自転車道」

輝く
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,900,000円

未婚化・晩婚化対策のため、結婚を支援

●えひめ結婚支援センターを通じて、結婚を希望する未婚男女に出会いの場を提供

結婚を希望する未婚男女に、出会いの場を提供する活動を実施しています。これまでに、出会いイベントでは、44,000人を超える参加があり、約5,900組のカップルが誕生しています。また、お見合い事業「愛結び」では、約4,400人が会員登録し、約1,900組のカップルが誕生しています。この2つの出会いの場を通じて、自主申告分だけで455組の成婚報告がありました。



えひめ結婚支援センターPRチラシ

えひめ国体に向けた競技力の向上

●えひめ国体での天皇杯獲得に向け、競技力向上対策を推進

国体やその他の全国大会で、愛媛にゆかりのある選手が活躍することは、本県にとってスポーツの振興のみならず、次代を担う子どもたちに憧れや希望を与えるものです。県競技力向上対策本部では、平成29年の「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」で大活躍が期待される、本県の手づくり選手の育成・強化を図るため、県内トップレベルの中高校生や、国体開催時に主力となる世代の有望選手(ターゲットエイジ)等を対象に、強化練習や県外遠征等の強化事業を実施したほか、スポーツ医学に関する講習会を開催するなど、本県選手のレベルアップに積極的に取り組みました。



県外遠征等の強化事業の実施状況

やすらぎの
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,900,000円

地域づくり活動の活動支援

●地域自らの創意工夫による活動に助成

県では、市町や民間団体等が、地域の自立的発展を図るため実施する地域づくりの取組みに助成を行いました。

愛媛県愛南町では、県の支援を受けて「愛南の粋な土産品開発・発掘・PR事業」を実施し、ご当地キャラクター「なーしくん」を想起させる「おもてなースイーツフェスタ」開催や結婚関連行事と連携したスイーツブライダル等の新商品開発、販売促進に取り組みました。



おもてなしスイーツフェスタ

認知症医療体制の充実

●認知症疾患医療センターの設置運営

認知症疾患医療センターは、専門医療相談や早期の鑑別診断と治療方針の決定を行い、適切な医療や福祉サービスへつなぐことに加え、認知症医療に関する情報提供や研修の実施等を行う専門医療機関です。

県では、今後急速な増加が見込まれる認知症高齢者に対する医療体制の充実を図るため、認知症疾患医療センターを県下7カ所に設置、運営し、地域における認知症医療体制の充実に取り組みました。



認知症疾患医療センター

やさしい
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,900,000円

生物多様性の保全

●豊かな生物多様性を守り、自然と共生する社会の実現を図る

生物多様性の保全のためには、絶滅のおそれのある種の保護を緊急に行う必要があり、生物多様性センターやNPO等民間団体、学識経験者と連携して、ニホンカワウソやナゴヤダルマガエル、ハマビシ、ウンランといった希少な野生生物の詳細な生息・生育調査を行い、効果的な保全策について検討を行いました。

また、平成26年10月に、11年ぶりに愛媛県レッドデータブックを改訂しました。そのほか、セアカゴケグモやアライグマなどの特定外来生物等外来生物に関するリーフレットを作成し、県民の皆さんの外来生物に対する理解促進を図るとともに、関係者連絡会議を開催するなどして侵入防止と侵入初期段階における早期防除等の対策強化を図りました。



レッドデータブック 2014

●生物多様性の認識度の向上と定着を図る

地域で開催する自然観察会や学習会、環境保全活動に講師を派遣するなどして、地域に根ざした生物多様性保全活動の促進と資質向上、定着を図りました。



外来生物に関するリーフレット



自然観察会への講師派遣